

会 議 録

1 会議名

- ・令和2年度第6回清里区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1) 報 告（公開）

（1）総務・地域振興グループ報告事項

- ・地域活動支援事業の進捗状況について

2) 協 議（公開）

（1）自主的審議事項について

- ・中山間地域の課題解決に向けた取組について
- ・市営バスの運行に伴う旅客運賃の負担に係る検討について

3) その他（公開）

（1）令和2年度第7回清里区地域協議会の開催（案）について

3 開催日時

- ・令和2年9月24日（木）午後3時から午後4時20分まで

4 開催場所

- ・清里コミュニティプラザ3階 多目的ホール

5 傍聴人の数

—

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：古澤文夫（会長）、山川正平（副会長）、桑原正史、佐々木勝峰、竹田恵理子、羽深正、保坂幸男、堀川敏子、松永誠一、向橋マチ子
- ・事務局：清里区総合事務所：上田所長、浅野次長、保坂市民生活・福祉グループ長（併教育・文化グループ長 ※以下グループ長はG長と表記）、長澤班長、野口集落づくり推進員

8 発言の内容（要旨）

【浅野次長】

- ・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【古澤文夫会長】

・挨拶

【上田所長】

・挨拶

【古澤文夫会長】

・会議録の確認を保坂幸男委員に願います。

・次第4報告、(1) 地域活動支援事業の進捗状況について、事務局に説明を求める。

【長澤班長】

・資料はないため口頭で説明する。地域活動支援事業については、申請のあった全9事業のうち2事業が完了し、交付申請額どおりに補助金の交付を確定したところである。事業が完了したのは荒牧狼煙を上げる会の「白看板城址駐車場・崖安全性向上事業」と同団体の「白看板城址周辺のイワカガミ群生地養生事業」である。

・他団体の進捗状況については、概ね当初の予定どおりに進んでいるとのことであるが、新型コロナウイルス感染防止の観点から事業内容を一部変更する団体もある。

・活動支援事業の申請内容に変更があった場合の取扱いであるが、申請団体から変更承認申請があった場合、地域協議会で協議が必要なこともあることを承知いただきたい。

【古澤文夫会長】

・事務局の説明について意見、質問を求めるがなし。

・次に次第5協議 (1) 自主的審議事項について、協議を始める。

・前回の地域協議会で、野口集落づくり推進員から各集落の現状と課題について説明いただき話し合いをしたが、集落機能の維持が年々難しくなってきたのはいるが突出して困っている項目はないという状況であった。

・これまでの自主的審議は空き家問題を協議してきたわけだが、地域協議会として何ができるのか先般正副会長と事務局で打合せをした。その結果、提案があるので皆さんに相談させていただきたい。資料1-1の福岡県宇美町の「おぼえ書き」、1-2埼玉県八潮市の「私と家族の安心ノート」はいわゆるエンディングノートであり、全国の自治体で多く作成されているものの中から簡潔で容易な内容のものを取り上げ、参考に配布させていただいた。提案というのは、清里区でもこのようなエンディングノートを委員の

皆さんで協議しながら作成してみてもいいかというものである。

・このエンディングノートを作成することで、家の将来について所有者や家族が意向を確認し、話し合うきっかけづくりにしてもらい、例えば空き家バンク制度に登録するといった選択がなされれば、移住者の呼び込みにもつながり、中山間地域の振興策の一つにもなると考える。加えて、いわゆる終活に向けた取組となり、残された家族にとっても有意義なライフサポートになると考え、提案するものである。

・中山間地域では野口集落づくり推進員から協力いただき、取組の意義をお伝えしながら希望する高齢者世帯に作成の支援をしていくことを考えている。また、中山間地域だけでなく、清里区内全域を対象にすることも検討していきたいと考えている。

・この取組の実施の是非や内容について皆さんに意見を求める。

【松永誠一委員】

・このノートを作ることが、中山間地域の課題解決につながるのか。参考に配布されたエンディングノートを作成した市町村では、中山間地域の課題解決に役立っているのか。

【古澤文夫会長】

・ノートの中に、財産の処分方法や使い方を記載する箇所がある。中山間地域は高齢者世帯や独り暮らしが多いので、特に空き家が発生しやすいため、空き家の問題に結び付けている。中山間地域の振興とって空き家問題を取り上げたが、なかなか対策がつかめないということが現状のため、ここにつなげていきたいと考えている。

【桑原正史委員】

・空き家問題と結びつけるのは非常に良いと思う。

【堀川敏子委員】

・我が身につまされるような内容。このようなノートがあれば、話し合いのきっかけづくりになり、安心して将来に向えると思う。

【古澤文夫会長】

・地域にないので、清里区が先駆者になる。

【松永誠一委員】

・清里区のものを作るにあたって、中身を地域協議会で協議して作成するのか。

【古澤文夫会長】

・清里区地域協議会で協議して、清里にあったものを清里バージョンとして作っていきたい。最終的には、協議会として町内会長に提案し、全戸に配布することも考えていき

たい。

・それでは清里区の（仮称）「安心ノート」の作成について進めることとする。野口集落づくり推進員からは、中山間地域の高齢者宅について支援していただくこととし、次回以降の会議で（仮称）「安心ノート」の内容について検討することとしてよいか。

（「はい」の声多数。）

【古澤文夫会長】

・それではそのようにする。以上で中山間地域の課題解決に向けた取組について終了する。

・次に市営バスの運行に伴う旅客運賃の負担に係る検討について協議を始める。事務局に説明を求める。

【長澤班長】

・市営バスの運行に伴う旅客運賃の負担に係る検討について、資料2-1、2-2、2-3により説明する。

【古澤文夫会長】

・事務局の説明について意見、質問を求める。

・父兄には市営バスに運行が変わることの了解は得ているが、運賃については説明していない。せめてこれまでの運賃並みにならないか、地域協議会としても要望できないかと考えている。

【羽深正委員】

・（市営バスは）区間、距離に関係なく一律200円ということか。

【事務局】

・そのとおり。

【長澤班長】

・路線バスでは、学生の場合、1年定期があるが、現状の市営バスでは6か月定期までしかない。

【佐々木勝峰委員】

・市で200円と決まっているのであれば、高くなるのは仕方ないのではないかと。地域協議会で協議したところで動かさないのではないかと。

【古澤文夫会長】

・200円を安くしろということではなく、学生の定期券の料金設定が高くないよ

うにして欲しいと要望してはどうかということ。

【佐々木勝峰委員】

・それは要望したい。特に学生なので、親の負担もかかってくるので負担を軽くしてあげたい。子どもが少ないなか、ますます住みづらい地域となってしまう。

【保坂幸男委員】

・資料にある他の区では移行するときに補助があったのか。清里区だけ割増の補助ができるのか。

【長澤班長】

- ・他の区の状況の詳細は承知していない。交通政策課に確認したい。
- ・他はスクールバスに混乗する形で、市営バスが単独で運行する形態は清里区が市で初めてである。

【松永誠一委員】

・バスが再編されるという話の中に料金の話はまったくなかった。今後、負担が上がるのがわかれば、利用者から大きな問題として意見が出てくることは間違いない。地域協議会としても、利用者の負担が上がらないよう要望していくべき。

【堀川敏子委員】

・スクールバスは別に走るのか。

【長澤班長】

・清里区では、スクールバスは独立して動かす形態。

【保坂G長】

・スクールバスはこれまでと変わらない。

【堀川敏子委員】

・市営バスに運行形態を変更することで、どれくらいの経費の縮減効果があるのか。

【長澤班長】

・清里区だけで考えると、バスの購入費もあることから初期投資がかかり、かえって増大することになるが、市全体の路線を考えれば、経費は縮減される。

【保坂G長】

・今回の運行形態の見直しは、経費だけでなく、これまで乗り入れなかった地区でも利用できるなど利用しやすい公共交通を目指している。

【古澤文夫会長】

- ・このテーマは来年度からの実施事業であり、早急に協議し11月くらいまでに方向性を出す必要があるため、次回以降も引き続き協議を重ねて市に要望を行っていくこととするとしてよいか。

(「はい」の声多数。)

- ・それではそのようにする。以上で自主的審議事項を終了する。
- ・次に、次第6その他、第6回地域協議会の開催について、10月29日木曜日、午後3時からコミュニティプラザで開催する。
- ・ほかに意見等を求めるがなし。

【山川正平副会長】

- ・閉会の挨拶

9 問合せ先

・清里区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-528-3111(内線225)

E-mail : kiyosato-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

- ・別添の会議資料も併せてご覧ください。